

令和4年2月10日
中部地方整備局
清水港湾事務所

清水港のコンテナターミナルで働き方改革の実現に取り組んでいます

～ 遠隔操作 RTG※¹初号機が海から到着 ～

2月12日(土)※²、清水港新興津コンテナターミナルに遠隔操作 RTG 初号機が海上輸送により到着します。清水港における遠隔操作 RTG の導入は全22基で、事業者である鈴与株式会社により令和7年までに順次整備される予定です。今回は2基が到着し、ターミナル内で附帯物を取り付け後、試運転を行うこととなります。

港湾の各現場における働き方改革推進が喫緊の課題であるなか、国土交通省では、コンテナターミナルにおいて、労働環境の改善や生産性の向上を図るため、遠隔操作RTGの導入に対する補助事業を実施しており、令和2年度に清水港の遠隔操作 RTG 導入事業を採択しました。

※1 RTG(Rubber Tired Gantry Crane)：タイヤ式門型クレーン。コンテナヤードとトレーラーとの間でコンテナの受け渡しを行う機械。

※2 海象状況により清水港への到着が遅れる可能性があります。詳細はお問い合わせ下さい。

1. 遠隔操作 RTG の概要・効果

遠隔操作 RTG は、オペレータが管理棟等の遠隔操作室内からクレーン操作を行うことができるシステムです。

空調の効いた室内で快適に作業でき、一人のオペレータで複数の RTG を操作することによりトイレ休憩等がとりやすいなど、労働環境の改善が図られます。また、室内から全ての RTG を操作可能となることにより、コンテナヤード全体を柔軟に利用でき、荷役作業能力の向上やトレーラー待機時間の減少が図られます。

2. 事業概要

事業者：鈴与株式会社

整備内容：遠隔操作 RTG 22基（改造5基、新規17基）、遠隔操作 RTG の導入に必要な施設（遠隔操作卓、データ転送施設等）

〔参考〕国土交通省ウェブサイト：https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_tk2_000047.html

3. 添付資料 「遠隔操作 RTG の導入促進（港湾機能高度化施設整備事業）」

4. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、静岡県政記者クラブ、静岡市政記者室、港湾空港タイムス、港湾新聞社、日本海事新聞社、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

5. 問合せ先

○国の遠隔操作 RTG 導入に対する補助事業に関するお問い合わせはこちら
国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所

企画調整課 木全（きまた） 平野（ひらの） Tel 054-352-4148

○清水港の遠隔操作 RTG 及び2月12日当日の概要に関するお問い合わせはこちら

鈴与株式会社

経営企画室 石野（いしの）様 Tel 050-9002-4214

遠隔操作RTGの導入促進

(港湾機能高度化施設整備事業【コンテナ荷役システム高度化支援施設】)

労働力人口の減少や高齢化の進行による将来の港湾労働者不足の深刻化が懸念されるとともに、大型コンテナ船の寄港の増加に伴うコンテナ船の着岸時間が長期化する中、コンテナターミナルにおける労働環境の改善や荷役能力の向上を図るため、遠隔操作RTGの導入に係る事業に対し、支援を行う。

※RTG・・・Rubber Tired Gantry craneの略で、タイヤ式門型クレーンのこと

【対象事業】

- 遠隔操作RTG及びその導入に必要となる施設の整備

【補助対象者】

- 民間事業者

【対象港湾】

- 苫小牧港、仙台湾港、京浜港、新潟港、清水港、名古屋港、四日市港、大阪港、神戸港、水島港、広島港、関門港、博多港

【対象施設】

- 遠隔操作RTG及びその導入に必要となる施設

【補助率】

- 1／3以内

【公募期間】

2020年3月25日(水)～7月31日(金)

【主な評価指標】

- 安全性確保のために適正な措置が講じられること
- 補助対象施設の運用に当たり荷役能力の向上が十分見込まれること
- 補助対象施設の運用に当たり労働環境の改善が十分見込まれること
- 遠隔操作RTGを導入するコンテナターミナルの国際競争力の向上が期待されること

遠隔操作RTG導入後の荷役作業

管理棟等の遠隔操作室内からRTGを遠隔操作することが可能に



※新設の場合、本体全体が対象
改良の場合、遠隔操作化に必要な改良部分が対象

補助対象施設の例

遠隔操作RTG※

